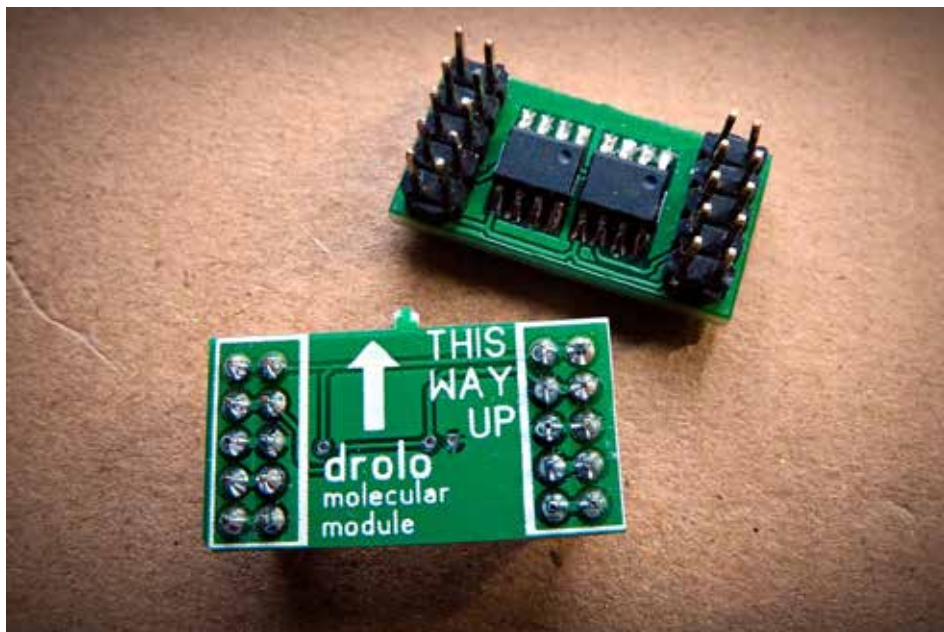


MOLECULAR DISRUPTOR V3.3



drolo

Molecular DisruptorはDSPベースのマルチエフェクトのペダル。新しいパッチが定期的に追加されるMolecularパッチリストからお好みのエフェクトを16種類まで選択して読み込みます。エフェクトは交換可能なMolecularモジュールに書き込まれます：



"アラカルトな"方式で、自分のニーズに合わせて最大16種類のエフェクトを搭載したペダルを手に入れることができます。別のエフェクトを使いたい場合はいつでも新しいモジュールを追加注文できます。

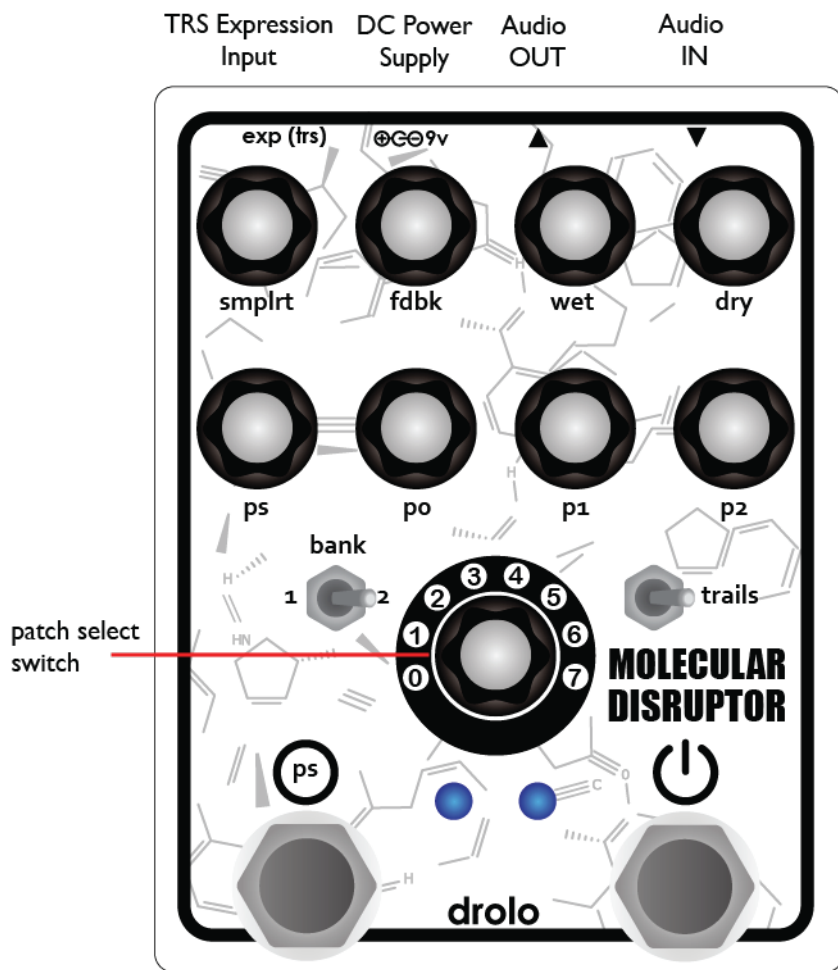
Power Supply:

9Vセンターマイナス100mA以上の電源で動作します。スタンダードなBOSSタイプの電源でOKです。



電源の極性が正しいことを確認してください。極性が間違っているとペダルが破損する恐れがあります。高電圧での使用は絶対に避けてください。

本ペダルは高周波で動作するデジタルプロセッサを使用しているため、バイパス状態であっても、他のペダルと同一の電源に接続して使用（デイジーチェーン接続）すると、高音域のノイズが聞こえる場合があります。このノイズは電源を介して他のペダルの信号に混入する可能性があります。これはこの種の機器では正常な現象です。環境によっては気にならない可能性もありますが、もしそのような減少がある場合は、アイソレートされた電源の使用をお勧めします。



trails:

バイパスモードを切り替えます。トレイルを有効にするとバッファードバイパスとなり、ペダルをバイパス後もエフェクトの出力がそのまま通過するため、ディレイの残響などが自然に残ります。ただしノイズを発生させるパッチの場合、ペダルがバイパス状態のときでもノイズが聞こえる可能性があります。そのような場合はトレイル機能を無効にして、リレー式トゥルーバイパスを使用してください。

bank:

パッチバンクを切り替えます。2つ目のバンクが書き込まれている場合のみ有効です。別のバンクに切り替えた際は、パッチスイッチを回して新しいエフェクトを有効にする必要があります。

patch selector:

モジュール内の8つのパッチから1つを選択します。Note：パッチを変更すると、前のパッチでホールド、ループしたサンプルはすべて削除されます。

p0, p1, p2:

各ノブそれぞれ、選択したパッチで異なるパラメーターを制御します。

wet/dry:

ウェット信号とドライ信号のレベルを調整します。ユニティゲインは12時辺りです。Note：一部のパッチではドライとウェットがコムフィルター効果によって位相差が生じる場合があります。通常これらのパッチはドライキルでの使用を想定して設計されていますが、お好みであればドライ信号を追加することも可能です。

fdbk:

例えばディレイのリピートなど、通常フィードバックとして機能します。パッチによっては他の機能に使われたり、あるいは何の機能も持たなかったりする場合もあります。

smplr:

DSPチップの動作サンプリングレートを約8kHzから60kHzで変更します。上げると、選択したパッチによって異なる影響が生じます。下げると、ディレイタイムやサンプリング時間が長くなり、音質は定価、フィルターの帯域幅が狭くなります。最大/最小に設定すると、クロック周波数が可聴域に入りノイズが聞こえる場合があります。

bypass switch:

短くタップ（0.3秒未満）すると、ラッチで動作します。0.3秒以上押し続けると、モーメンタリー動作になります。

ps switch / ps pot:

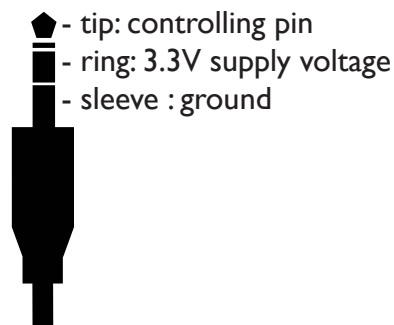
このスイッチをオンにすると、PSポットで設定された値がP0ポットの設定値をオーバーライドします。バイパススイッチと同様に、モーメンタリーとラッチングを踏み分けます。

p1を外部から制御するために使用できます。EXPペダルを接続すると、p1はEXPペダルの最大設定値となります。

TRSプラグを使用する市販のEXPペダルのほとんどは動作するはずですが、それほど厳密ではありませんが、10k以下にはしないことをお勧めします。Moog EP-2、Roland EV-5、M-Audio EX-Pなどが挙げられます。

1/4インチTRS（ステレオ）プラグおよびケーブルを使用してください。モノラルプラグやケーブルは絶対に使用しないでください！これらはペダル内部の電圧レギュレータをショートさせ、ペダルを破損させる原因となります。

TRSプラグはこのような形状をしています。



貴方が詳しいなら、抵抗式のコントローラーの代わりにCVを使用することも可能です。ただし接続方法に注意し、絶対に3.3Vを超えないようにしてください。超えてしまうとペダルが破損してしまいます。TRSプラグを使用してください。モノラルプラグは使用しないでください。

EXP入力に何を接続すべきか迷った場合は、メールでご連絡ください。安全かどうか確認させていただきます。

Replacing a set of patches:

モジュールを交換する前に、ペダルから電源プラグを抜いてください。ペダルの内部では、基板の左下側にモジュール用ソケットがあります。「this way up」という表示に従って、モジュールを差し込んでください。

Thanks !
David

<http://www.davidrolo.com>
david@davidrolo.com